

# 三年学年だより

No. 9

12月号

令和4年12月発行

3年7組担任・副担任

## 18歳のおくりもの

私は高校時代、吹奏楽部内で仲良くしていたメンバーがいた。メンバーの18歳の誕生日を迎えるたびにサプライズ演奏を行い、そこそこ盛大にお祝いをしていたことを今でも覚えている。高校卒業を迎え、そのメンバーでタイムカプセルを作ることになり、思い出の数々をカプセルに閉じ込め、30歳になる年に開封することに決めた。その当時はまだまだ12年あると思っていたが、あっという間に時は流れ、そのときを迎えた。私はタイムカプセルに何を入れたかははっきりと覚えていなかったが、開封したときに当時の記憶が蘇ってきて、「こんなものも入れていたのか！」の驚きの声とともに、メンバー直筆の手紙が出てきた。その手紙はメンバーにあてて書いたものであるが、私が書いた手紙にはこのように書かれてあった。

『僕は大学に行って数学教師になりますが、はっきりいって教師になれるかっていうのは自分のがんばり次第なんですね。だからやっぱ夢をかなえるためには努力することが一番いいんです。夢を実現してからも、新たな夢をつくってそれを達成していこうと努力して人間的に成長するんです。(中略) まあ、努力していれば必ず実現できると思います。がんばれ！！』 (現文ママ)

少々上から目線な言い方は気になったが、当時の私はどんな心境でこの手紙を書いたのだろうか。12年後の私に向けて書いたつもりはなかったであろうが、教員となって日々の業務に追われるだけの私にとって、大変良い刺激になった言葉であった。教員になってから大変なことや悩むこともあったが、努力次第で大きな壁も乗り越えることができるということを再認識した。18歳の私からの大事なおくりものであった。

努力していれば必ず実現できる・・・さらに言うと、努力して身に付けたことは必ず人生のどこかで役に立つ。高校生当時、社会で絶対必要ないと思っていた英語をかなりの時間をかけて勉強したのだが、数年前タイから来られていた、ほぼ英語しか話することができないお遍路さんを急遽私の家に泊めるときになったときには大いに役立った！（この話の詳細は紙面の都合上、割愛する。）人生何があるかわかりませんね・・・。

(307HR 担任)

先日、森松にある某カレー専門店に行ったときのことである。ロボットが注文されたメニューを運んでいるのに驚いた。最近では、会話をするロボットもいる。サッカーのW杯でもAIがオフサイド判定をしているニュースがあった。これからもロボットやAIが、人間の生活を便利にしていくことは間違いないだろう。

一方で世の中がどんどん便利になると、他人と協力しなくても事足りることも多くなってくるのが予想される。しかも自由や個人の尊重が当たり前の時代だ。自分だけの都合で行動する人が多くなって、かえって生きにくい社会にならないかと勝手に心配をしてしまう。そうならないためには、やはり人が人を思いやる気持ちを大切にしたいものだ。

その点、中央高校生は人を思いやる気持ちがとても強いので安心です。まだまだ将来に向けて不安なこともあると思いますが、みんなで支え合って残りの高校生活を充実させていけるといいですね。

(307HR 副担任)